

福生市公共施設白書の概要

作成目的

○福生市所有の公共施設等の老朽化の状況や将来の更新費用を試算し、今後の施設のあり方（施設マネジメント）に関する基本方針を検討するための基礎資料として作成

⇒平成28年度策定予定の「福生市公共施設等総合管理計画」に活用

対象施設

○福生市所有の公共建築物（学校や庁舎、地域会館等）
→道路、橋りょう等のインフラを除く、いわゆるハコモノ施設
※テニスコート、グラウンド等の平場が中心となる施設は対象外
※将来の更新費用については、インフラを含めた試算も実施

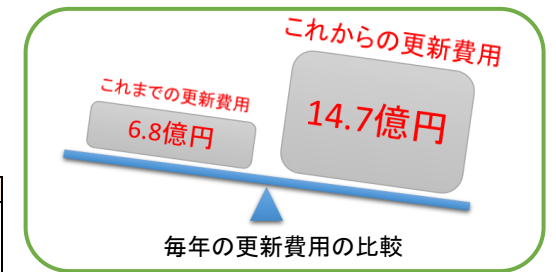
会計名	大分類	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)
普通会計	市民文化・生涯学習系施設	文化・社会教育施設	市民会館・公民館	3	9,988
			地域会館等	9	4,569
			プチギャラリー	1	448
			福庵	1	158
			図書館	4	3,896
			その他	4	851
		スポーツ施設	体育館	3	8,745
			プール	1	606
			野球場・競技場	2	654
			その他	1	345
	学校教育系施設	学校	小学校	7	37,681
			中学校	3	21,367
			その他の学校教育施設	1	1,471
	保健・福祉施設	児童福祉施設	児童館	2	1,471
			学童クラブ	9	1,262
			その他	1	345
		高齢者福祉施設	福祉センター	1	4,685
		障害者福祉施設	れんげ園	1	320
		保健施設	保健センター	1	1,472
	行政系施設	庁舎等	庁舎等	2	10,540
消防施設			5	805	
消防・防災施設		防災施設	2	219	
		清掃施設	リサイクルセンター	1	4,357
公営住宅	公営住宅	公営住宅	5	20,094	
		自動車駐車場	1	1,381	
その他	その他	駅公衆便所	6	148	
		その他	1	71	
		計	77	136,476	

上記の77施設、延床面積136,476㎡について、総務省の指針に基づき状況の把握と課題の整理を実施

主な内容

- 福生市の人口は今後も減少傾向にあり、20年間で約7.9%減少すると予測。人口構成についても生産年齢人口が減少する一方で老年人口が増加し、高齢化が進展すると見込まれる。
- 福生市の財政力指数（0.744）は都内26市平均（0.937）に比べ低い水準で推移する一方で、人口1人当たりの公共施設延床面積（2.37㎡）は都内26市平均（1.96㎡）に比べ**20%以上高い水準**である。〔財政力指数は平成26年度の数値、延床面積は平成25年の数値。〕
- 旧耐震基準（昭和56年度以前）の施設が全体の52%にのぼり、耐震化率は概ね100%を達成しているものの、**建築後30年以上が経過している老朽化した施設が多い状況**となっている。
- 対象施設の内訳を分類別にみると、施設数は**市民文化・生涯学習系施設（28施設、36.3%）**、延床面積は**学校教育系施設（約59千㎡、43.5%）**が多くなっている。
- 施設を現状のまま維持するとして今後の更新費用を試算すると、これまでと比較して**毎年7.9億円（約2.2倍）の支出増**となる見込みである。インフラを含めた場合は毎年12.2億円（約2.2倍）の支出増が見込まれる。

大分類	状況	課題
市民文化・生涯学習系施設	・施設数は28、市全体で最も多い(36.3%)。 ・建築後30年以上の施設は全体の約67%(延床面積)。 ・地域会館(公民館)や図書館など、複合施設が多い。	大規模な施設である市民会館・公民館や中央体育館の老朽化比率が70%以上となるなど、施設の老朽化が進んでいる。
学校教育系施設	・延床面積は約59千㎡で市全体の43.5%を占める。 ・建築後30年以上の施設は全体の約89%(延床面積)。 ・給食センターは防災食育センターの整備に合わせて解体除却予定。	ほとんどの学校が建築後40年以上を経過しており、耐震化は完了しているものの、老朽化が深刻な状況である。
保健・福祉施設	・施設数は市民文化・生涯学習系施設に次いで多い(19.5%)。一方、延床面積では市全体の7.0%と少ない。 ・児童福祉施設は全て複合施設となっている。	学校や地域会館との複合施設となっている学童クラブでは、施設の老朽化が課題となっている。
行政系施設	・施設数は10、延床面積は約16千㎡で市全体の11.7%である。 ・庁舎とリサイクルセンターが、全体の延床面積の約90%を占める。	庁舎については、将来の施設の老朽化を見据えて、維持管理費の平準化に向けた取組を行う必要がある。また、リサイクルセンターは、稼働から20年近くが経過しており、基幹設備の老朽化が課題となっている。
公営住宅	・延床面積は約20千㎡で市全体の14.7%を占める。 ・建築後30年以上の施設は全体の約26%(延床面積)。	福生市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を行っているが、一部の木造住宅は耐用年数が経過しているため早期に対応する必要がある。
その他	・施設数は8、延床面積は約2千㎡で市全体の1.2%である。 ・市営福生駅西口駐車場、駅公衆便所、まちなかおもてなしステーション。	市営福生駅西口駐車場については、新扶桑会館の建設に伴い、既存の建物は解体され平面駐車場となる予定であり、管理方法について検討する必要がある。



公共施設の管理における3つの課題

- ◆人口減少や高齢化で変化するニーズへの対応
- ◆老朽化への対応
- ◆維持更新コストへの対応

公共施設等総合管理計画を策定し、施設マネジメントに関する基本方針を決定

今後の公共施設のあり方に関する具体的な施策の展開へ